



清瀬の杜

令和4年7月②号
令和4年7月8日
校長 佐藤 明子

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>



校歌に込められた思い

校長 佐藤 明子

本校では、毎年6・7月の時期に地域の講師の方々をお迎えして「石田波郷俳句教室」を実施しています。今年度は、すでに1、2年生は6月に今の自分の想いを、十七音に自由に表現しました。(様子は本校ホームページに掲載されています。)3年生は、来週15日(金)に予定しています。3年生の皆さんにとっては、清瀬中学校における最後の俳句教室になりますが、清瀬中学校の校舎で感じる想いを存分に巡らせ、十七音で表現することを楽しむ時間にして下さい。

さて石田波郷は、清瀬中学校の私たちにとって有名な俳人である他に、本校の校歌の歌詞を創った特別な方であることは皆さんもよく知るところだと思います。入学式や卒業式、音楽の授業と、歌詞に思いを込めながら歌って来ていますが、改めて、どのように校歌は誕生し、これまで大切に歌い継がれてきたのかを、紐解いてみました。平成9年10月4日に発行された本校の『創立50周年 記念誌』に、当時の本校教員であった川戸直美先生と平野和士先生が、「校歌への思い」として以下の内容を寄稿されていたので、ご紹介します。

川戸 直美 先生

清瀬中学校に着任して最初に聞いた校歌の作詞者の名が、あの「石田波郷」であるのに驚いた。石田波郷=中学校の国語の教科書には必ずその名前とともに、作品が挙げられている有名な俳人である。「バスを待ち 大路の春を うたがはず」中3で学習する俳句である(※1)。驚きが収まると「なぜ波郷が清瀬中の校歌の作詞を…」と疑問が沸いてきた。

波郷は、終戦間近の昭和19年、満州に出兵中、中腹膜炎を病み、終戦後も病状思わしくなく、昭和23年、手術のため、清瀬村国立東京療養所(現・国立療養所東京病院)(※2)に入所した。何回かの手術を経て、昭和25年に退所するが、療養所内で始めた句会「松濤」は、27年まで選句を担当した。以後、晩年に何度となく療養所に入所したこともあって、清瀬は波郷にとってなじみの深い土地となり、随筆集「清瀬」も刊行されている。

時は昭和31年、まもなく創立10周年を迎えようとしていた清瀬中では、当時の校長の平沼栄一氏が、10周年にあたり校歌を作ろうと、初代校長で退職後、教育長であった永塚泰蔵氏に相談していた。俳句をたしなんでいた永塚氏は、同じ俳句仲間であった村役場勤務の中村春芳氏が、波郷と同時期、療養所で句会に参会し、波郷を師と仰いでいたことから、春芳氏を介して波郷に校歌の作詞を頼みに行ったのである。波郷は、「清瀬にはお世話になったから」と快く引き受け、かくして清瀬中の校歌が作詞されることに至った。また、作曲も波郷に見合う人ということで「赤胴鈴之介(※3)」の作曲をした渡辺浦人氏にお願いしたのである。

清瀬中の校歌には、学校名が出てこないことにお気づきだろうか。これは大変珍しい。波郷の最後の直接の弟子である星野麦丘氏は、「波郷だったら、ありきたりのものは作らないでしょう。」としごく当然のようにおっしゃっていた。波郷の年表には、昭和32年3月、「清瀬中学校の委嘱により同校の校歌を作詞した。」と記されている。

平野 和士 先生

石田波郷は、唯二校の校歌を作詞した。1校は本校で、他は足立区立第二中学校である(※4)。俳人石田波郷は、結核療養のため清瀬にある国立東京病院(※2)で入退院を繰り返していた。そこでたくさんの俳句を作ったり、俳句の指導もしたりしていた。それらの中で「清瀬」といった句が7句あった。

石田波郷全集に載っている年譜には「清瀬中学校校歌は、昭和32年2月3日、同校の新制中学校開設10周年にあたり、需(もと)められて作詞したものである。」とある。また、「足立区立第二中学校では、波郷没後(昭和44年11月21日没)の昭和46年9月23日、同校校庭に波郷自筆の歌碑が建立された。」とあった。

本校にはそれがない。かつてあったと聞いたこともない。波郷にとって校歌作詞第1号の本校にはそれがないのである。歌碑がなければならぬというものではないが一方には建立し、より縁の深かった方にはないというのは、一抹の寂しさを覚えるのである(※5)。昭和22年に新制中学校制度が開設されて以来の本校は、今年50周年を迎えた。

本校の校歌は、昭和32年3月18日に制定されました。校歌の誕生には、多くの人の努力があり、また65年間もの間、卒業生が、教職員が大切に歌い継いできた思いを、このお二人の寄稿から、実感しました。

- 〈※1 現在、本校の3年生が使用している光村図書出版「国語3」にも掲載されている〉
- 〈※2 国立療養所東京病院は、平成16年に独立行政法人国立病院機構東京病院へ移管された〉
- 〈※3 昭和30年代に人気のあったテレビアニメ番組である〉
- 〈※4 足立区立第二中学校は、平成17年に閉校した〉
- 〈※5 平成9年度に本校も、創立50周年記念として、校庭に校歌記念碑が建立された〉

11日(月)に1年生は、『校歌発表会』を実施します。4月から授業や学級練習で創り上げてきた歌声に、ぜひ、本校校歌に携わった多くの人の思いを重ね、現在の清瀬中学校らしさを堂々と発表してくれることに期待しています。



第1回 学校運営連絡協議会を開催しました

6月13日(月)本校図書室において、令和4年度第1回学校運営連絡協議会を開催いたしました。協議会の前には、委員の方には、生徒たちの授業の様子をご覧いただきました。協議会においては、まず校長より、今年度の学校経営方針、運動会をはじめとした教育活動の様子について報告いたしました。その後、委員お一人おひとりから、運動会の生徒たちの活躍についてのご感想や、今年度の教育活動への期待等のご意見をいただきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じた上で、『地域とともに歩む学校』として、保護者や地域、関係機関の皆様へ生徒の輝く姿をみていただき、より一層のご支援とご協力をいただきたいと思います。協議委員会の皆様、1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

「令和4年度 運動会」出席票・アンケートの提出のご協力をありがとうございました

運動会後に実施させていただきました、出席票・アンケートの提出のご協力をありがとうございました。81名の方から提出いただき、たくさんのご感想や、改善の方策などを寄せていただきました。

すべてのご感想に、「運動会が実施できてよかった」「運動会を参観することができてよかった」というお声をいただきました。一方で、来年度の運動会実施に向けて、開催時間、観客席、熱中症対策、競技内容等についての改善策の提案もいただきました。新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて、学校行事を開催していくことは、今後も最優先事項ではありますが、「可能性」を探りながら、子供たちにとってよりよい「運動会」を作りたいと思います。いただきました内容については、次年度に役立てまいります。引き続きまして、ご理解の程よろしくお願いいたします。

校庭の草取りのご協力をありがとうございました

7月7日(木)午前 PTA 文化・厚生委員の方々が、暑い中、校庭の草取りを実施してくださいました。例年は、運動会頃を実施していた PTA 事業ですが、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、活動休止しておりました。

校庭を見わたして、「ここもやっちゃいましょう!」と皆さんが声を掛け合いながら、終了予定の時刻をオーバーさせながら、実施してくださいました。草取り前と、草取り後の様子は、本校ホームページに掲載をさせていただきました。ぜひご覧ください。この度、ご協力をいただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



祝 都大会出場 男子 卓球部 女子 卓球部



7月2日(土)に行われた「第11 フロック卓球大会 団体戦」において見事に、本校卓球部が、男子は優勝、女子は準優勝し、都大会への出場権を獲得しました。

《本校部活動 都大会 開催日》

7月17日(日) 男子バレーボール部

7月23日(土) 女子ソフトテニス部

男子・女子卓球部

7月24日(日) 男子ソフトテニス部

男子・女子卓球部

都大会での活躍を期待しています。

《給食室の改修工事について》

夏季休業中に、給食室の一部改修が行われます。2学期以降の配給には影響しないように工期を設定いたしました。期間中は校内に工事車両が入りますので、注意をお願いいたします。



【工事期間】

7月21日(木)
～8月23日(火)